様式第３

会　　議　　録

会　　議　　名	平成３０年度第１回野田市男女共同参画審議会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	１　会長及び副会長の選出について（公開） ２　第３次野田市男女共同参画計画の進捗状況について（公開）
日　　　　時	平成３０年１１月１４日（水） 午後３時から午後４時２分まで
場　　　　所	市役所高層棟８階　大会議室
出席委員氏名	倉持　又彦、文道　尚子、中村　好枝、杉崎　春雄、石原　和子、小野塚　貴子、小出　由美子、長崎　梨奈、横川　しげ子、木名瀬　セキ、国松　実枝子、田中　恵子、平野　滋、梶山　美枝子、筒井　圭子
欠席委員氏名	木村　ひろ子
事　務　局　等	鈴木　有（市長）、今村　繁（副市長）、桑村　典子（広報広聴課長補佐）、富山　勝之（人事課長）、富山　芳則（管財課長）、会田洋一（営繕課市営住宅係長）、大塚　盛也（市民生活課長）、森下元博（防災安全課長）、田中　徳寿（商工観光課長補佐（兼）労政係長）、戸塚　進（農政課長補佐）、須田　光浩（生活支援課長）、小林　智彦（障がい者支援課長）、大月　聡（高齢者支援課長）、安藤剛行（介護保険課長（兼）地域包括支援センター長））中代　英夫（保健センター長）、村山　佐知子（保健センター子ども支援室主査）、宮澤　一弥（生涯学習部次長（兼）社会教育課長）、金子　隆（社会教育課中央公民館長（兼）振興係長）、岡田　通洋（社会体育課長）、横島　司（青少年課長（兼）青少年センター所長）、寺田　幸生（興風図書館長）、矢部　雅彦（学校教育部次長（兼）指導課長）、田中　洋介（社会福祉協議会事務局長）、平野　紀幸（児童家庭部長）、小林　利行（児童家庭課長）、関根　康弘（保育課長）、戸邉　卓哉（人権・男女共同参画推進課長）、広仲　真（人権・男女共同参画推進課主幹（兼）七光台会館長）、鈴木　和子(人権・男女共同参画推進課長補佐(兼)啓発係長)、鈴木　佳子（人権・男女共同参画推進課主任主事)

傍　　聴　　者	０名
議　　　　　事	第１回野田市男女共同参画審議会の会議結果（概要）は、次のとおりである。
人権・男女共同参画推進課長補佐	平成３０年１１月１４日午後３時、開会を宣言し、会議の成立について報告した。会議の公開及び傍聴並びに会議録及び会議資料の公開ついて説明した。 会議録作成のため録音機を使用することをについて了承を得た。 過去の審議会において、会議録における発言委員の氏名の公表及び、会議資料・会議録・委員名簿のホームページ公開が決定していることを説明した。 市長の挨拶を求める。
市長	＜挨拶＞
人権・男女共同参画推進課長補佐	委員の紹介を行い、委嘱書を倉持委員に代表して交付。他の委員は委嘱書の配布により交付に代えさせてもらう。 議事に当たり会長の選出を行うため、仮議長を市長に依頼する。 会議の傍聴について報告する。
市長（仮議長）	会長の選出について、条例の定めにより、委員の互選により選任するとあるため、委員の意見を伺う。
国松委員	指名推薦ではいかがか。
	＜異議無しの声＞
市長（仮議長）	委員の推薦を伺う。
倉持委員	横川委員を推薦する。
	＜異議無しの声＞
市長（仮議長）	横川委員に会長を決定し、仮議長を降りる。
人権・男女共同参画推進課長補佐	横川委員に挨拶を求める。
横川会長	＜挨拶＞ 副会長の選出について、条例の定めにより、委員の互選により選任するとあるため、委員の意見を伺う。

国松委員	会長一任ではいかがか。 ＜異議無しの声＞
横川会長	中村委員を推薦する。 ＜異議無しの声＞
横川会長	中村委員を副会長に決定し、挨拶を求める。
中村副会長	＜挨拶＞
人権・男女共同参画推進課長補佐	条例の定めにより、議事進行を横川会長に依頼する。
横川会長	議題２　第３次野田市男女共同参画計画の進捗状況について 第３次野田市男女共同参画計画の進捗状況について事務局に説明を求めた。
人権・男女共同参画推進課長	＜資料に基づき、第３次野田市男女共同参画計画の進捗状況を説明＞
横川会長	第３次野田市男女共同参画計画の進捗状況について質疑及び意見を求めた。
杉崎委員	昨年意見したので非常に見やすくなり、特にグラフ化により進捗状況が分かりやすくなった。そこでグラフ化された資料２の図１のＤＶ相談の件数で、平成２９年度が例年からすると極端に減っているが、２９年度に新しい事業や施策等があったのか、あるいはこれまでずっと４年５年と実施してきたものが実を結んで、功を奏したのか、あるいは何か相談しにくい理由があって件数が減ってしまったのか、その理由を教えてほしい。
人権・男女共同参画推進課長	ＤＶ相談件数が、２８年度から２９年度、２８２件から１６８件に下がっているが、傾向として、全国的にも千葉県内でも下がっている。２９年度シェルターの入所が０件だった。野田市の特に下がった理由は、ＤＶ被害者への支援は複数年続くことがあるが、２９年度は複数人の方への支援が終了となっており、たまたまそういうケースが重なったことによるものと考えられる。
国松委員	まず１ページの一番下の欄の事業で、３０年度の７月３１日にＬＧ

	ＢＴへの理解と対応について、今ＬＧＢＴが人権にかかわる問題ということで注目を浴びている中、自治体が問題として取り上げ講習会をすることは余り多くないので、是非また企画をして進めていただきたい。 女性の審議会の登用率で、野田市は全国的にみてもトップクラスだが、女性委員がいない審議会をなんとかなくせないものかと毎回思っている。来年が目標の見直しということもあり、２つの審議会で女性が０人という状況が少なくとも４年、多分その前から続いているが、どういう訳か教えてほしい。何か良い方法をみんなで考えられると思う。
人権・男女共同参画推進課長	１つ目のＬＧＢＴは意見ということでよろしいか。２つ目の審議会については、女性委員がいない審議会は３つあり、１つ目は技能功労者選考委員会で、メンバー９人で主な方は大工さん等のため、女性の参画が難しい状況となっている。もう 1 つは老人ホーム入所判定委員会で、こちらは７人で主な委員は医者のため、努力はしているが現状では難しい状況となっている。もう１つは行政不服審査会で、主な委員は弁護士となっているが、次回は女性の参画に努めていく。
倉持委員	学校における管理職の男女の比率について、現在どのような状態になっているのか。
指導課長	現在小中あわせて３１校あるが、校長職の女性が３名、９．７％。教頭が５名、１６．０％。共に昨年度よりも１名づつ増えているが、まだまだ低い状況となっている。今後も登用率を上げるべく努力していく。
国松委員	今、女性の登用率が出たので、こちら側からの景色だが、事務局の女性が圧倒的に少ない。審議会の登用率、校長先生や教頭先生への登用、それから前に私が申しあげた公民館長への登用、これは是非女性を増やしていただきたいと思うが、野田市はロールモデルを宣言しているので、市役所の女性中間管理職、管理職の登用というのはとても重要だと思う。是非少しづつ増やしていってほしい。

副市長	女性の職員の登用は、ここ１０年以上の課題だが、２０年位前まで職域自体が狭かったことと、入庁時から庶務を中心で責任のある職に携わらなかった方達が今管理職に適した年齢になり、当人が尻込みしているのが現実だと思う。これまでの取組に反省すべきところがあったと思う。最近は特に若い頃からの登用を進めているが、すぐに結果は出ず、また女性職員の数を増やすために、定数等を増やすだけでなく、女性が活躍できる職域、それから責任を持って仕事をしていく意識を持った女性職員を育てていくことはこれからもより一層励んでいきたいと思っている。
文道委員	市役所でダブルケアへのサポートシステムが出来たと伺ったが、今までにそういうケースがあったのか、世間の事情を踏まえて作ったのか伺いたい。
保育課長	実際御希望される保護者がいたこと、市でも検討していたことから、実施した。
文道委員	もう１点、家族内で殺し合いにまで及んでしまう家庭内ＤＶが、最近新聞やテレビでの報道ではやりのように騒がれている。野田市ではそのような事件はなかったと思うが、それに近いＤＶは野田市でもあったのか。
人権・男女共同参画推進課長	家庭内暴力ということで、当課で実施している「女性のための相談」で、女性の家庭内についての相談があるが、殺人に近いような事件は聞いていない。ドメスティック・バイオレンスは、夫婦喧嘩が口論から始まり、最終的に力が強い男性が勝つという傾向が非常に強いので、物を投げたり、殴ったりという行為が誤ってそういう結果につながってしまうことがあると思うので、今後は危険な行為は良くないという啓発を行っていく。
横川会長	事務局においては、委員からの発言を今後の施策実行に反映させ、男女共同参画社会の実現に取り組んでほしい。 本日の審議案件は以上となるが、委員から何か意見はあるか。 ＜意見なし＞

横川会長	その他、事務局より何かあるか。
人権・男女共同参画推進課長	本日配布した資料の説明を行う。
横川会長	議事終了につき、議長の任を解く。
人権・男女共同参画推進課長補佐	午後４時２分、閉会を宣言した。